



〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-4-2
TEL.03-3519-2361(商) FAX.03-3581-9188

はっぴよん通信 Vol.18



小学6年生が特許を取得! いろいろな人の協力で、 アイデアを特許にしました!

アイデアを考えた **神谷明日香さん** (当時小学6年・現中学1年生)

2015年8月14日付で小学生が特許取得! 空き缶の分別でのアイデアで、愛知県安城市立文山小学校6年の神谷明日香さん(12)は、磁石の性質を利用して、スチール缶とアルミ缶を分別する仕組みの特許を取得し、日本国内でもおおきなニュースになりました。

アイデアのキッカケは?

神谷さんのおじいちゃんがスーパーマーケットをやっている、自動販売機の横でゴミ箱に捨てられる空き缶がたくさんあって、分別がいつも大変そう。

そこで、空き缶の分別をもっと簡単にできないかなと思って考えたんだ!



発明品制作のときに、 助けてくれた人は?

家族が協力してくれて、一緒に形にしてくれたので特許が取れました。

思いついたらお母さんに言って、ひらめきを頭の中ではっきりさせました。お父さんと一緒に試作品を作ったり、失敗した時にアイデアを出しあったりしました。「できなくてもやってみる、とにかくやってみる、やりやなんとなかなる」の気持ちであきらめずに取り組んだことが成功した理由なんだって。



スチール缶とアルミ缶を 分ける仕組みはこうなっているよ!

◎空き缶分別箱の仕組み



ごみ箱はプラスチック板などを組み合わせた直方体で高さ約90センチ。内部に仕切りがあり、スチール缶入れとアルミ缶入れに分かれている。投入口は真上に設け、アルミ缶はそのまま下に落ちるが、スチール缶は磁石の力で別枠に落ちる仕組み。

神谷さんが作った際に 工夫した点・苦労した点

工夫した点は、磁石の下に付いている板です。実験をした時、磁石に缶がくっついてしまったので付けたのですが、長いと分別できなくて短いとくっついてしまうので、1cm~5cmまでで試してみても、一番分別できた3cmにしました。苦労した点は、仕組みを考えることです。始めは全然違う形を考えたり実験してみたりしました。



特許をとるために 弁理士の丸山先生が お手伝い



特許をとるためには、特許庁への申請が必要です。その申請のためのスペシャリストが「弁理士」さん。神谷さんの特許も弁理士の丸山明夫先生が、アドバイスをしたり、申請書類をつくってくれたり、全面サポートしてくれました!

丸山先生に聞く

1. 特許を取るまでのサポートは?
磁石の下に付けたプラスチック板がポイントで、その効果を示せるよう、長さをいろいろと変えた場合の試験結果に関して、神谷さんにアドバイスしました。
2. 特許をとるまでに、神谷さんと苦労した点は?
意欲や探求心を持ち続けて欲しいと思いました。明白香さん、本人が「これが自分の作品だ」と考えているものを特許として成立させたい。そこで、アイデアから完成までの流れを明白香さんに自由に話してもらって、本人の考えをよく聞いてから、特許取得に向けて取り組みました。

一つのアイデアから特許を取得するまでに、家族のサポート、
弁理士さんのアドバイス、みんなの協力で特許が取れたんだね!



みんなも
発明にチャレンジ!!

>>> 特許・商標など、知的財産に関する情報は
日本弁理士会ホームページへ
<http://www.jpaa.or.jp/kids/>



知的財産権にはいろいろな種類があるよ。

特許権 みんなが新しく考えだしたアイデアを守るよ。「発明」を保護してみんなの生活を豊かにするんだ。	実用新案権 「もの」に関する役立つアイデアを守るよ。くらしく役立つアイデアなど、「考案」も登録できるよ。	意匠権 「華」「洋装」「かばん」など、色々な「もの」のデザインを守るよ。	商標権 商品やサービスに付ける「マーク」や「ネーミング」を守るよ。	著作権 文化の発展を実現させるために、文学、美術、音楽などの表現を守るよ。
---	--	--	---	---